

参議院議員 森屋 隆

国政 News 2023.6 No.8



経済活動と人手不足

2023年5月8日から新型コロナウイルス感染症は2類相当から5類に移行されました。さて今年のゴールデンウィークは久しぶりに観光地で多くの人が笑顔と賑わいを見せました。また各地域ではお祭りやイベントが行われるなど、コロナ禍前の生活に急速に動き出しています。他方で生活に必要不可欠な職業（エッセンシャルワーク）やサービス産業を中心に働き手の不足は深刻な問題となっています。コロナ禍ではテレワークも出来ない現場職の苦悩から離職が相次ぎ、現在は求人をしても人が集まらないというまさにコロナの後遺症とも言える状況です。特に交通運輸部門では人手不足と相まって、春のダイヤ改正では鉄道・バスの減便やタクシー稼働台数の減少が目立ちます。また物流部門では人手不足を理由に物が届かない、いわゆる「2024年問題」が社会問題化されるなど、

私たちの生活に大きな影響を与えるかねない状況が直ぐそこまで迫っています。このように交通運輸部門一つを見ても、企業を中心となつて労働者の賃金や働き方について国民全体で考え直さなければならない時代に突入しています。

お金持ち優遇社会からの脱却

現在、日経平均株価は3万円を超え、大企業を中心に業績も急速に回復しています。このような状況にある中で、誰もが安心して暮らせる社会の構築を目指していくかなければなりません。具体的には国がこの間行ってきた新自由主義による行き過ぎた競争政策と自己責任論、お金持ち優遇社会から格差是正を軸とした政策転換を早期に行なうことが重要です。そのためにも職場実態に促した問題を中心に国会質疑を行ってまいります。今後とも多くの皆さまからのご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

早期復旧の期待を込め、大鐵へ鉄道災害調査隊を派遣

6月9日、昨年9月の台風15号で被災した大井川鐵道の早期復旧に向けて、交運労協・中部交運労協、私鉄総連、大井川鐵道社長、大井川鐵道労組執行委員長で国土交通省・藤井直樹事務次官に要請を行いました。森屋は、交運労協政策推進議員懇談会事務局長として要請に出席し、「大井川鐵道の復旧に向けて、鉄道災害調査隊の早期派遣を」と強く求め、同月16日、今年4月創設の鉄道災害調査隊派遣第1号が大井川鐵道に決定いたしました。



今国会における森屋隆が進めてきた政策

- 鉄軌道・乗合バス・タクシーの運賃改定（制度改革）
- バス・タクシー車内における氏名、写真の掲示義務廃止
- 地域公共交通予算の拡充
- 小一の壁打破へ向けた総理の答弁を引き出す
- カスタマーハラスメントに対する取組の強化
- 特別高压で受電を行う鉄道事業者等に対する地方交付金による支援
- 道路交通法第31条2 乗合自動車発進妨害違反への対策の強化

引き続き、職場の声を
かたちにしていきます



墨田区議会議員 えんどうミホさん当選

4月に行われた第20回統一地方自治体選挙に森屋事務所前秘書えんどうミホさんが墨田区議選に挑み、見事当選を果たしました。



朝日新聞デジタル 記事
仕事と育児の両立阻む「小1の壁」、首相が解決に意欲 「喫緊の課題」
岸田文雄
渡辺淳基 2023年3月13日 19時00分



3月13日 朝日新聞デジタルより

岸田文雄 首相は13日の参院予算委員会で、子どもが小学校に入ると預け先を見つけにくくなる「小1の壁」について、問題の解消を目指す考えを示した。立憲民主党の森屋隆氏の質問に首相は「小1の壁を打破することは喫緊の課題だ」と述べた。

facebook



日々の活動を発信しています。
多くの方に情報拡散のご協力を
お願いします。

森屋隆の公式 HP



連絡先

立憲民主党参議院比例第4総支部

〒100-8962
東京都千代田区永田町2-1-1 参議院議員会館1211
tel : 03-6550-1211 fax : 03-6551-1211
URL : <https://moriyatakashi.com>
E-mail : takashi_moriya@sangiin.go.jp

国土交通委員会



第211回 国会提出法律案(令和5年 通常国会での法案内容)

- 地域公共交通の活性化及び再生に関する法律等の一部を改正する法律案
- 道路整備特別措置法及び独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構法の一部を改正する法律案
- 空家等対策の推進に関する特別措置法の一部を改正する法律案
- 気象業務法及び水防法の一部を改正する法律案
- 海上運送法等の一部を改正する法律案
- 特定船舶の入港の禁止に関する特別措置法第五条第一項の規定に基づき、特定船舶の入港禁止の実施につき承認を求めるの件
- 貨物自動車運送事業法の一部を改正する法律案（議員立法）

森屋隆の質問時間

- | | |
|---------|--------|
| ● 法案質疑 | 1時間40分 |
| ● 一般質疑 | 2時間31分 |
| ● 予算委員会 | 40分 |
| ● 調査会 | 20分 |

質問時間 計5時間11分

予算委員会集中審議



賃上げについて岸田総理に迫る

森屋 総理は一昨年の参議院本会議において、エッセンシャルワーカーの収入を増やしていくことは私の分配戦略の大きな柱であるとしています。また、松野官房長官は、バス、タクシー、トラック、この交通サービスは国民生活に、そして経済活動を支える重要な役割であり、皆様の労働条件の改善は重要な課題と認識しているとおっしゃっていました。しかし、エッセンシャルワーカーの賃金が上がっていない。この状況を何とか変えたいと思います。総理、一言いただけないでしょうか。

森屋 もう待ったなしなんです、総理。地方の交通労働者に何か直接的な支援というのを考えられないでしょうか。

鉄道、バス、タクシー、トラック等不規則勤務労働者の子ども・子育て支援を訴える

森屋 岸田政権が子育て支援に全力投球でいくというふうに言っていたいわけありますから、不規則勤務労働者に対しましても何とかその具体的なものを打ち出させていただきたい。総理の英断をお願いします。

総理 委員御指摘のように、交通運輸業について特に御指摘がありました。こうした業種ごとの課題も踏まえながら、子育てしやすい環境づくり、子ども・子育て支援のありよう、様々なサービスや取組の充実について政府としても検討ていきたいと思います。

資源エネルギー・持続可能社会に関する調査会

鉄道運賃改定における人件費削減を許さない

2月15日の当調査会で、森屋は総括原価方式におけるヤードスティック規制の副作用について、東京大学公共政策大学院教授であり同大学の副学長、大橋弘教授に質問を行いました。大橋教授は国土交通省の鉄道運賃・料金制度のあり方に関する小委員会の委員を務めており、森屋は、「ヤードスティックを掛けた事により、結果的には副作用、規制が効き過ぎてしまい人件費を余りにも抑制してしまったのではないか」と発言しました。大橋教授からは、「比較の項目の比重の置き方によつては、人件費なり削りやすい所にひずみがいく事はあるんじゃないかと思う。総括原価は、需要が伸び続けている時は比較的うまく機能するが、地域交通のように下がっていく一方という状況において総括原価をやっていくことが非常に難しくなる。市場規模の状況に応じてヤードスティックのやり方は変えていかなければならぬし、柔軟なやり方に変えていくのが正しいのではないか」と、大橋教授からこの答弁を引き出せた事は、今後、JR、大手民鉄、地下鉄の運賃改定に影響をもたらす大きな一步となりました。

国土交通委員会による法案充実のための視察

2023年2月13日～14日

国土交通委員会の各党の理事が今国会の法案の課題「地域公共交通の活性化」、「空き家の活用」、

「高速道路整備等」について三重県・滋賀県・京都府の各知事、関係企業団体と意見交換を行いました。



野党筆頭理事としての任を 全力で勤め上げる

森屋は、国土交通委員会の野党筆頭理事を務めています。筆頭理事としての仕事は以下のようものが挙げられます。

- 委員会開催に関する協議
- 筆頭間協議（与党筆頭理事との協議）
- 質問時間の調整
- 法案に対する附帯決議の作成